

(別紙)

食品表示基準について（新旧対照表）

改正後（新）						改正前（旧）							
食品表示基準について（平成27年3月30日消食表第139号）						食品表示基準について（平成27年3月30日消食表第139号）							
(総則関係)～別添 添加物1-6 (略)						(総則関係)～別添 添加物1-6 (略)							
別添 添加物2-1 既存添加物名簿収載品目リスト						別添 添加物2-1 既存添加物名簿収載品目リスト							
番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考	番号	品名		簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
	名称	別名						名称	別名				
1	(略)						1	(略)					
2	(略)						2	(略)					
3	(略)							(略)					
4	アグロバクテリウムスクシノグリカン (アグロバクテリウムの培養液から得られた、スクシノグリカンを主成分とするものをいう。)	スクシノグリカン	(削除)	※	増粘安定剤	Agrobacterium Succinoglycan	4	アグロバクテリウムスクシノグリカン (アグロバクテリウムの培養液から得られた、スクシノグリカンを主成分とするものをいう。)		スクシノグリカン	細菌 (Agrobacterium tumefaciences) の培養液より、分離して得られた多糖類である。主成分はスクシノグリカンである。	増粘安定剤	Agrobacterium succinoglycan
5	(略)						5	(略)					
6	アスコルビン酸オキシダーゼ	アスコルベートオキシダーゼ ビタミンCオキシダーゼ	オキシダーゼ V.Cオキシダーゼ	※	酵素	Ascorbate Oxidase	6	アスコルビン酸オキシダーゼ	アスコルベートオキシダーゼ ビタミンCオキシダーゼ	オキシダーゼ V.Cオキシダーゼ	※	酵素	Ascorbate Oxidase
7	(略)						7	(略)					
8	(略)						8	(略)					
9	アスペルギルス・テレウス糖たん白質 (アスペルギルス・テレウスの培養液から得られた、糖タンパク質を主成分とするものをいう。)	ムタステイン		※	製造用剤	Aspergillus terreus Glycoprotein	9	アスペルギルス・テレウス糖たん白質 (アスペルギルス・テレウスの培養液から得られた、糖タンパク質を主成分とするものをいう。)	ムタステイン		糸状菌 (Aspergillus terreus) によるブドウ糖、澱粉及び大豆ミールの発酵培養液を除菌し、硫酸アンモニウムにより分画した後、脱塩して得られたものである。主成分は糖タンパク質である。	製造用剤	Aspergillus terreus glycoprotein
10	(略)						10	(略)					
11	(略)						11	(略)					
12	アナトー色素 (ベニノキの種		アナトー カロチノイド	ベニノキ科ベニノキ (Bixa orellana LINNE) の種子の被覆物より、熱時油脂若し	着色料	Annatto Extract	12	アナトー色素 (ベニノキの種		アナトー カロチノイド	※	着色料	Annatto Extract

	子の被覆物から得られた、ノルビキシン及びビキシンを主成分とするものをいう。）		カロチノイド色素 カロテノイド カロテノイド色素	くはプロピレングリコールで抽出して得られたもの、室温時へキサン若しくはアセトンで抽出し、溶媒を除去して得られたもの、又は熱時アルカリ性水溶液で抽出し、加水分解し、中和して得られたものである。主色素はビキシン及びノルビキシンである。黄色～橙色を呈する。					
	<u>アナトー色素 (ノルビキシン)</u>	<u>ノルビキシン</u>	<u>アナトー (ノルビキシン)</u>	※					<u>Annatto Extract (Norbixin)</u>
	<u>アナトー色素 (ビキシン)</u>	<u>ビキシン</u>	<u>アナトー (ビキシン)</u>	※					<u>Annatto Extract (Bixin)</u> <u>Bixin</u>
13	(略)								
14	(略)								
15	(略)								
16	(略)								
17	L-アラニン		アラニン	※		調味料強化剤			L-Alanine
	<u>L-アラニン液</u>			※					<u>L-Alanine Solution</u>
18	(略)								
19	(略)								
20	(略)								
21	(略)								
22	(略)								
23	(略)								
24	(略)								
25	(略)								
26	(略)								
27	イソアルファー苦味酸 (ホップの花から得られた、イソフムロン類を主成分とするものをいう。)	イソアルファー酸	ホップ	※		苦味料等			<u>Iso-α-bitter Acids</u>
28	イソマルトデキストラナーゼ			※		酵素			Isomaltodextranase
29	(略)								
30	(略)								
31	イノシトール	イノシット		「フィチン酸」を分解したものより、又はアカザ科サトウダイコン (Beta vulgaris LINNE var. rapa DUMORTIER) の糖液又は糖蜜より、分離して得られたものである。成分はイノシトールである。		強化剤			Inositol
	<u>myo-イノシトール</u>	<u>myo-イノシット</u>		※					<u>myo-Inositol</u>
32	(略)								
33	(略)								
34	ウコン色素 (ウコンの根茎から得られた、クルクミンを主成分とするものをいう。)	<u>ターメリック色素</u> <u>クルクミン</u>	ウコン	※		着色料			Furmeric Oleoresin Curcumin
35	ウルシロウ (ウルシの果実から得られた、グリセリンバル			※		ガムベース 光沢剤			Jrush Wax

	子の被覆物から得られた、ノルビキシン及びビキシンを主成分とするものをいう。）		カロチノイド色素 カロテノイド カロテノイド色素						
	(新設)								
	(新設)								
13	(略)								
14	(略)								
15	(略)								
16	(略)								
17	L-アラニン		アラニン	※				調味料強化剤	L-Alanine
	(新設)								
18	(略)								
19	(略)								
20	(略)								
21	(略)								
22	(略)								
23	(略)								
24	(略)								
25	(略)								
26	(略)								
27	イソアルファー苦味酸 (ホップの花から得られた、イソフムロン類を主成分とするものをいう。)	イソアルファー酸	ホップ	※ (令和3年6月17日以前に製造され、加工され、又は輸入されるものについては、なお従前の例によることができる。)		苦味料等			<u>Iso-α-bitter acid</u>
28	イソマルトデキストラナーゼ			※ (令和3年1月14日以前に製造され、加工され、又は輸入されるものについては、なお従前の例によることができる。)		酵素			Isomaltodextranase
29	(略)								
30	(略)								
31	イノシトール	イノシット		「フィチン酸」を分解したものより、又はアカザ科サトウダイコン (Beta vulgaris LINNE var. rapa DUMORTIER) の糖液又は糖蜜より、分離して得られたものである。成分はイノシトールである。		強化剤			Inositol
	(新設)								
32	(略)								
33	(略)								
34	ウコン色素 (ウコンの根茎から得られた、クルクミンを主成分とするものをいう。)	<u>クルクミン</u> <u>ターメリック色素</u>	ウコン	※		着色料			Furmeric Oleoresin Curcumin
35	ウルシロウ (ウルシの果実から得られた、グリセリンバル			※ (令和3年6月17日以前に製造され、加工され、又は輸入されるものについては、なお従前の例によることができる。)		ガムベース 光沢剤			Jrush Wax

95 (略)						95 (略)					
96 (略)						96 (略)					
97 (略)						97 (略)					
98 (略)						98 (略)					
99 (略)						99 (略)					
100 (略)						100 (略)					
101 (略)						101 (略)					
102 グルコサミン				※	増粘安定剤 製造用剤	Glucosamine			「キチン」を、塩酸で加水分解し、分離して得られたものである。成分はグルコサミンである。	増粘安定剤 製造用剤	Glucosamine
103 (略)											
104 (略)											
105 (略)											
106 α-グルコシルトランスフェラーゼ処理ステビア	酵素処理ステビア	ステビア	※	甜味料	α-Glucosyltransferase Treated Stevia	α-Glucosyltransferase Treated Stevia			※	甜味料	α-Glucosyltransferase Treated Stevia
(「ステビア抽出物」から得られた、α-グルコシルステビオシドを主成分とするものをいう。)		ステビア 糖転移ステビア									
<u>α-グルコシルトランスフェラーゼ処理ステビアオール配糖体</u>	<u>酵素処理ステビアオール配糖体</u>		※		<u>α-Glucosyltransferase Treated Steviol glycosides</u>						
107 (略)											
108 (略)											
109 (略)											
110 (略)											
111 (略)											
112 (略)											
113 (略)											
114 (略)											
115 くん液 (サトウキビ、竹材、トウモロコシ又は木材を燃焼して発生したガス成分を捕集し、又は乾溜して得られたものをいう。)	スモークフレーバー	木酢液 <u>リキッドスモーク</u>	※	製造用剤	Smoke Flavourings	Smoke Flavourings				製造用剤	Smoke Flavourings
(削除)											<u>Wood vinegar Pyroigneous acid</u>
(削除)											<u>Liquid smoke</u>
116 (略)											
117 ゲンチアナ抽出物 (ゲンチアナの根又は根茎から得られた、アマロゲンチン及びゲンチオピクロシドを主成分とするものをいう。)			※	苦味料等	Gentian Root Extract	Gentian Root Extract				苦味料等	Gentian root extract
117 ゲンチアナ抽出物 (ゲンチアナの根又は根茎から得られた、アマロゲンチン及びゲンチオピクロシドを主成分とするものをいう。)									<u>リンドウ科ゲンチアナ (Gentiana lutea LINNE) の根又は根茎より、水又はエタノールで抽出して得られたものである。有効成分はゲンチオピクロシド (ゲンチオピクリン) 及びアマロゲンチンである。</u>		

118	高級脂肪酸 (動植物性油脂 又は動植物性硬 化油脂を加水分 解して得られた ものをいう。)		脂肪酸	動植物性油脂又は動植物性硬化油脂より、加 水分解したものより得られたものである。	製造用剤	higher Fatty Acid	118	高級脂肪酸 (動植物性油脂 又は動植物性硬 化油脂を加水分 解して得られた ものをいう。)		脂肪酸	※ (令和3年6月17日以前に製造され、加工さ れ、又は輸入されるものについては、なお従前 の例によることができる。)	製造用剤	higher fatty acid
	高級脂肪酸 (カプリル酸)		脂肪酸 (カプリ ル酸)	※		Higher Fatty Acid (Caprylic Acid)		(新設)					
	高級脂肪酸 (カプリン酸)		脂肪酸 (カプリ ン酸)	※		Higher Fatty Acid (Capric Acid)		(新設)					
	高級脂肪酸 (ステアリン 酸)		脂肪酸 (ステア リン酸)	※		Higher Fatty Acid (Stearic Acid)		(新設)					
	高級脂肪酸 (パルミチン 酸)		脂肪酸 (パルミ チン酸)	※		Higher Fatty Acid (Palmitic Acid)		(新設)					
	高級脂肪酸 (ベヘニン酸)		脂肪酸 (ベヘニ ン酸)	※		Higher Fatty Acid (Behenic Acid)		(新設)					
	高級脂肪酸 (ミリスチン 酸)		脂肪酸 (ミリス チン酸)	※		Higher Fatty Acid (Myristic Acid)		(新設)					
	高級脂肪酸 (ラウリン酸)		脂肪酸 (ラウリ ン酸)	※		Higher Fatty Acid (Lauric Acid)		(新設)					
119	香辛料抽出物 (アサノミ、ア サフェチダ、ア ジョワン、アニ ス、アンゼリ カ、ウイキョ ウ、ウコン、オ ールスパイス、 オレガノ、オレ ンジピール、カ ショウ、カッシ ア、カモミ ール、カラシナ、 カルダモン、カ レーリーフ、カ ンゾウ、キャラ ウエー、クチナ シ、クミン、ク レゾン、クロー ブ、ケシノミ、 ケーパー、コシ ョウ、ゴマ、コ リアンダー、サ ッサfras、サ フラン、サボリ ー、サルビア、 サンショウ、シ ソ、シナモン、 ジャロット、ジ ュニバーベリ ー、ショウガ、 スターアニス、 スベアミント、 セイヨウワサ ビ、セロリー、 ソーレル、タイ ム、タマネギ、 タマリンド、タ ラゴン、チャイ ブ、ディル、ト	スパイス抽出物	香辛料 スパイス	※	苦味料等	Spice Extracts	119	香辛料抽出物 (アサノミ、ア サフェチダ、ア ジョワン、アニ ス、アンゼリ カ、ウイキョ ウ、ウコン、オ ールスパイス、 オレガノ、オレ ンジピール、カ ショウ、カッシ ア、カモミ ール、カラシナ、 カルダモン、カ レーリーフ、カ ンゾウ、キャラ ウエー、クチナ シ、クミン、ク レゾン、クロー ブ、ケシノミ、 ケーパー、コシ ョウ、ゴマ、コ リアンダー、サ ッサfras、サ フラン、サボリ ー、サルビア、 サンショウ、シ ソ、シナモン、 ジャロット、ジ ュニバーベリ ー、ショウガ、 スターアニス、 スベアミント、 セイヨウワサ ビ、セロリー、 ソーレル、タイ ム、タマネギ、 タマリンド、タ ラゴン、チャイ ブ、ディル、ト	スパイス抽出物	香辛料 スパイス	アサノミ、アサフェチダ、アジョワン、アニ ス、アンゼリカ、ウイキョウ、ウコン、オレガ ノ、オールスパイス、オレンジピール、カショ ウ、カッシア、カモミール、カラシナ、カルダ モン、カレーリーフ、カンゾウ、キャラウエ ー、クチナシ、クミン、クレゾン、クローブ、 ケシノミ、ケーパー、コショウ、ゴマ、コリア ンダー、サッサfras、サフラン、サボリー、 サルビア、サンショウ、シソ、シナモン、ジャ ロット、ジュニバーベリー、ショウガ、スター アニス、スベアミント、セイヨウワサビ、セロ リー、ソーレル、タイム、タマネギ、タマリ ンド、タラゴン、チャイブ、ディル、トウガラ シ、ナツメグ、ニガヨモギ、ニジェラ、ニンジ ン、ニンニク、バジル、バセリ、ハッカ、パニ ラ、パプリカ、ヒソップ、フェネグリーク、バ バーミント、ホースミント、マジョラム、ミョ ウガ、ラベンダー、リンデン、レモングラス、 レモンバーム、ローズ、ローズマリー、ローレ ル又はワサビより水、エタノール、二酸化炭素 若しくは有機溶剤で抽出して得られたもの、又 は水蒸気蒸留により得られたものである。	苦味料等	Spice extracts

<p>ウガラシ、ナツメグ、ニガヨモギ、ニジェラ、ニンジン、ニンニク、バジル、バセリ、ハッカ、バニラ、パブリカ、ヒソップ、フェネグリーク、ペパーミント、ホースミント、マジョラム、ミョウガ、ラベンダー、リンデン、レモングラス、レモンバーム、ローズ、ローズマリー、ローレル又はワサビから抽出し、又はこれを水蒸気蒸留して得られたものをいう。ただし、「ウコン色素」、「オレガノ抽出物」、「オレンジ色素」、「カラシ抽出物」、「カンゾウ抽出物」、「カンゾウ油性抽出物」、「クチナシ黄色素」、「クローブ抽出物」、「ゴマ油不けん化物」、「シソ抽出物」、「ショウガ抽出物」、「精油除去ウイキョウ抽出物」、「セイヨウワサビ抽出物」、「セージ抽出物」、「タマネギ色素」、「タマリンド色素」、「タマリンドシードガム」、「タンニン(抽出物)」、「トウガラシ色素」、「トウガラシ水性抽出物」、「ニガヨモギ抽出物」、「ニンジンカロテン」及び「ローズマリー抽出物」を除く。）</p>							<p>ウガラシ、ナツメグ、ニガヨモギ、ニジェラ、ニンジン、ニンニク、バジル、バセリ、ハッカ、バニラ、パブリカ、ヒソップ、フェネグリーク、ペパーミント、ホースミント、マジョラム、ミョウガ、ラベンダー、リンデン、レモングラス、レモンバーム、ローズ、ローズマリー、ローレル又はワサビから抽出し、又はこれを水蒸気蒸留して得られたものをいう。ただし、「ウコン色素」、「オレガノ抽出物」、「オレンジ色素」、「カラシ抽出物」、「カンゾウ抽出物」、「カンゾウ油性抽出物」、「クチナシ黄色素」、「クローブ抽出物」、「ゴマ油不けん化物」、「シソ抽出物」、「ショウガ抽出物」、「精油除去ウイキョウ抽出物」、「セイヨウワサビ抽出物」、「セージ抽出物」、「タマネギ色素」、「タマリンド色素」、「タマリンドシードガム」、「タンニン(抽出物)」、「トウガラシ色素」、「トウガラシ水性抽出物」、「ニガヨモギ抽出物」、「ニンジンカロテン」及び「ローズマリー抽出物」を除く。）</p>						
120 (略)							120 (略)						
121 (略)							121 (略)						
122 (略)							122 (略)						
123 (略)							123 (略)						

124	酵素処理レシチン (「植物レシチン」又は「卵黄レシチン」から得られた、ホスファチジルグリセロールを主成分とするものをいう。)		レシチン	※		乳化剤	Enzymatically Modified Lecithin	124	酵素処理レシチン (「植物レシチン」又は「卵黄レシチン」から得られた、ホスファチジルグリセロールを主成分とするものをいう。)		レシチン	「植物レシチン」又は「卵黄レシチン」とグリセリンの混合物に、ホスホリパーゼDを用いて得られたものである。主成分はホスファチジルグリセロールである。	乳化剤	Enzymatically modified lecithin
125	(略)							125	(略)					
126	(略)							126	(略)					
127	(略)							127	(略)					
128	(略)							128	(略)					
129	(略)							129	(略)					
130	(略)							130	(略)					
131	(略)							131	(略)					
132	(略)							132	(略)					
133	(略)							133	(略)					
134	(略)							134	(略)					
135	(略)							135	(略)					
136	(略)							136	(略)					
137	(略)							137	(略)					
138	コメヌカロウ (米ぬか油から得られた、リグノセリン酸ミリシルを主成分とするものをいう。)	コメヌカワックス ライスワックス	植物ワックス	※		ガムベース 光沢剤	Rice Bran Wax	138	コメヌカロウ (米ぬか油から得られた、リグノセリン酸ミリシルを主成分とするものをいう。)	コメヌカワックス ライスワックス	植物ワックス	イネ科イネ (<i>Oryza sativa</i> LINNE) の種子より得られる米ぬか油より、分離して得られたものである。主成分はリグノセリン酸ミリシルである。	ガムベース 光沢剤	Rice bran wax
139	(略)							139	(略)					
140	サトウキビロウ (サトウキビの茎から得られた、パルミチン酸ミリシルを主成分とするものをいう。)	カーンワックス ケーンワックス	植物ワックス	※		ガムベース 光沢剤	Cane Wax	140	サトウキビロウ (サトウキビの茎から得られた、パルミチン酸ミリシルを主成分とするものをいう。)	カーンワックス ケーンワックス	植物ワックス	イネ科サトウキビ (<i>Saccharum officinarum</i> LINNE) の茎の搾汁残渣より、分離、精製して得られたものである。主成分はパルミチン酸ミリシルである。	ガムベース 光沢剤	Cane wax
141	サバクヨモギシードガム (サバクヨモギの種皮から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	アルテミシアシードガム サバクヨモギ種子多糖類		※		製造用剤 増粘安定剤	Artemisia Seed Gum	141	サバクヨモギシードガム (サバクヨモギの種皮から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	アルテミシアシードガム サバクヨモギ種子多糖類		キク科サバクヨモギ (<i>Artemisia halodendron</i> TURCZ. ex BESS., <i>Artemisia ordosica</i> KRASCHEN., <i>Artemisia sphaerocephala</i> KRASCH) の種子の外皮を、脱脂、乾燥して得られたものである。主成分は、 α -セルロースを基本骨格に持つ、中性多糖類及び酸性多糖類である。	製造用剤 増粘安定剤	Artemisia sphaerocephala seed gum Artemisia seed gum
142	(略)							142	(略)					
143	(略)							143	(略)					
144	(略)							144	(略)					
145	(略)							145	(略)					
146	シェラック (ラックカイガラムシの分泌液から得られた、アレウリチン酸とシェロール酸又はアレウリチン酸とジャラール酸のエステルを主成分とするものをいう。)	セラック		(削除)		ガムベース 光沢剤	Shellac	146	シェラック (ラックカイガラムシの分泌液から得られた、アレウリチン酸とシェロール酸又はアレウリチン酸とジャラール酸のエステルを主成分とするものをいう。)	セラック		※	ガムベース 光沢剤	Shellac
	シェラック (白シェラック)	セラック(白セラック)	白シェラック 白セラック	※			Shellac(White Shellac)		白シェラック		白セラック 白ラック	※		
	シェラック (精製シェラック)	セラック(精製セラック)	精製シェラック 精製セラック	※			Shellac(Purified Shellac)		精製シェラック		精製セラック	※		

ク)																						
147	ジェラックロウ (ラックカイガ ラムシの分泌液 から得られた、 ろう分を主成分 とするものをい う。)	セラックロウ	(削除)	※	ガムベース 光沢剤	Shellac Wax								147	ジェラックロウ (ラックカイガ ラムシの分泌液 から得られた、 ろう分を主成分 とするものをい う。)	セラックロウ	セラックロウ	カイガラムシ科ラックカイガラムシ (<i>Laccifer lacca KERR</i>) の分泌する樹脂状物質を、室温時 エタノール又は温時アルカリ性水溶液に溶解 し、ろ液からろう分を分離して得られたもので ある。主成分は樹脂酸エステルである。	ガムベース 光沢剤	Shellac wax		
148	(略)													148	(略)							
149	ジェルトン (ジェルトンの 分泌液から得ら れた、アミリン アセタート及び ポリイソブレン を主成分とする ものをいう。)	ボンチアナック	(削除)	※	ガムベース	Jelutong								149	ジェルトン (ジェルトンの 分泌液から得ら れた、アミリン アセタート及び ポリイソブレン を主成分とする ものをいう。)	ボンチアナック	ボンチアナック	キョウチクトウ科ジェルトン (<i>Dyera costulata HOOK F., Dyera lowii HOOK F.</i>) の 幹枝から得られたラテックスを、熱時水で洗浄 し、水溶成分を除去して得られたものである。 主成分はアミリンアセタート及びシスポリイ ズブレンである。	ガムベース	Jelutong		
150	シクロデキスト リン	サイクロデキ ストリン	環状オリゴ糖	デンブンを、酵素処理し、非還元性環状デキ ストリンとして得られたものである。成分は シクロデキストリンである。	製造用剤	Cyclodextrin								150	シクロデキスト リン	サイクロデキ ストリン 分岐サイクロ デキストリン 分岐シクロデキ ストリン	環状オリゴ糖	デンブンを、酵素処理し、非還元性環状デキ ストリンとして得られたものである。成分はシク ロデキストリンである。	製造用剤	Cyclodextrin		
	α-シクロデ キストリン	α-サイクロデ キストリン		※		α- Cyclodextrin	(新設)															
	β-シクロデ キストリン	β-サイクロデ キストリン		※		β- Cyclodextrin	(新設)															
	γ-シクロデ キストリン	γ-サイクロデ キストリン		※		γ- Cyclodextrin	(新設)															
	分岐シクロデ キストリン (粉 末品)	分岐サイクロデ キストリン (粉 末品)	分岐サイクロデ キストリン 分岐シクロデキ ストリン	※		Branched Cyclodextrin (Powder)	(新設)															
151	(略)													151	(略)							
152	(略)													152	(略)							
153	シソ抽出物 (シソの種子又 は葉から得られ た、テルペノイ ドを主成分とす るものをいう。)	シソエキス	(削除)		シソ科シソ (<i>Perilla crispa TANAKA</i>) の種 子又は葉より、酸性水溶液又は温時含水エタ ノールで抽出したものから得られたものである。 主成分はテルペノイドである。	製造用剤	Perilla Extract							153	シソ抽出物 (シソの種子又 は葉から得られ た、テルペノイ ドを主成分とす るものをいう。)	シソエキス	シソエキス	シソ科シソ (<i>Perilla crispa TANAKA</i>) の種子 又は葉より、酸性水溶液又は温時含水エタノ ールで抽出したものから得られたものである。主 成分はテルペノイドである。	製造用剤	Perilla extract		
154	シタン色素 (シタンの幹枝 から得られた、 サンダリンを主 成分とするもの をいう。)	サンダルウッド 色素	サンダルウッド フラボノイド フラボノイド色 素	※	着色料	Sandalwood Red								154	シタン色素 (シタンの幹枝 から得られた、 サンダリンを主 成分とするもの をいう。)	サンダルウッド 色素	サンダルウッド フラボノイド フラボノイド色 素	マメ科シタン (<i>Pterocarpus santalinus LINNE</i>) の幹枝より、水、熱時プロピレング ロール又は温時エタノールで抽出して得られた ものである。主色素はサンダリンである。紫赤 色を呈する。	着色料	Sandalwood red		
155	(略)													155	(略)							
156	ジャマイカカ シア抽出物 (ジャマイカカ シアの幹枝又 は樹皮から得ら れた、クアシン 及びネオクアシ ンを主成分とす るものをいう。)	カシアエキス	カシア	※	苦味料等	Jamaica Quassia Extract								156	ジャマイカカ シア抽出物 (ジャマイカカ シアの幹枝又 は樹皮から得ら れた、クアシン 及びネオクアシ ンを主成分とす るものをいう。)	カシアエキス	カシア	ニガキ科ジャマイカカシア (<i>Quassia excelsa SW.</i>) の幹枝又は樹皮より、水で抽出 して得られたものである。有効成分はクアシン 及びネオクアシンである。	苦味料等	Jamaica quassia extract		
157	(略)													157	(略)							
158	焼成カルシウム (うに殻、貝 殻、造礁サン ゴ、ホエイ、骨 又は卵殻を焼成		焼成Ca		強化剤 製造用剤	Calcinated Calcium								158	焼成カルシウム (うに殻、貝 殻、造礁サン ゴ、ホエイ、骨 又は卵殻を焼成		焼成Ca		強化剤 製造用剤	Calcinated calcium		

	して得られた、カルシウム化合物を主成分とするものをいう。)								
	うに殻焼成カルシウム	うに殻カルシウム うに殻Ca	※						
	貝殻焼成カルシウム	貝カルシウム 貝Ca	※						
	骨焼成カルシウム	骨カルシウム 骨Ca	※						
	造礁サンゴ焼成カルシウム	コーラルカルシウム コーラルCa サンゴカルシウム サンゴCa	※						
	乳清焼成カルシウム	乳清第三リン酸カルシウム ホエイ第三リン酸カルシウム ホエイリン酸カルシウム	※						
	卵殻焼成カルシウム	卵殻カルシウム 卵殻Ca	※						
159	植物性ステロール (油糧種子から得られた、フィトステロールを主成分とするものをいう。)	フィトステロール	ステロール	油糧種子を粉砕し、抽出して得られた植物性油脂より、室温時~温時メタノール、エタノール、イソプロパノール、酢酸エチル、アセトン、又はヘキサンで抽出したものとより得られたものである。主成分はフィトステロールである。	乳化剤	Vegetable Sterol			
	植物性ステロール(遊離体高濃度品)	フィトステロール(遊離体高濃度品)		※		Vegetable Sterol (High Concentration Free Sterol)			
	植物性ステロール(遊離体低濃度品)	フィトステロール(遊離体低濃度品)		※		Vegetable Sterol (Low Concentration Free Sterol)			
160	植物炭末色素 (植物を炭化して得られた、炭素を主成分とするものをいう。)	炭末色素	炭末	※	着色料	Vegetable Carbon Black			
161	(略)								
162	(略)								
163	(略)								
164	ステビア抽出物 (ステビアの葉から抽出して得られた、ステビオール配糖体を主成分とするものをいう。)	ステビアエキス	ステビア ステビア甘味料	※	甘味料	Stevia Extract			
	ステビオール配糖体	ステビオシド レバウジオシド		※		Steviol Glycosides			
165	(略)								
166	(略)								
167	(略)								
168	生石灰			※	製造用剤	Quicklime			

	して得られた、カルシウム化合物を主成分とするものをいう。)								
	うに殻焼成カルシウム	うに殻カルシウム うに殻Ca	※				うに殻を、焼成して得られたものである。主成分は酸化カルシウムである。		Calcinated sea urchin shell calcium
	貝殻焼成カルシウム	貝カルシウム 貝Ca	※						Calcinated Shell Calcium
	骨焼成カルシウム	骨カルシウム 骨Ca	※						Calcinated Bone Calcium
	造礁サンゴ焼成カルシウム	コーラルカルシウム コーラルCa サンゴカルシウム サンゴCa	※				イシサンゴ目の(Scleractinia)の造礁サンゴを、焼成して得られたものである。主成分は酸化カルシウムである。		Calcinated coral calcium
	乳清焼成カルシウム	乳清第三リン酸カルシウム ホエイ第三リン酸カルシウム ホエイリン酸カルシウム	※				乳清(酸カゼインホエイ)より乳清タンパクと乳糖を分離、除去したものを、精製し焼成して得られたものである。主成分はリン酸三カルシウムである。		Tricalcium phosphate
	卵殻焼成カルシウム	卵殻カルシウム 卵殻Ca	※						Calcinated Eggshell Calcium
159	植物性ステロール (油糧種子から得られた、フィトステロールを主成分とするものをいう。)	フィトステロール	ステロール	油糧種子を粉砕し、抽出して得られた植物性油脂より、室温時~温時メタノール、エタノール、イソプロパノール、酢酸エチル、アセトン、又はヘキサンで抽出したものとより得られたものである。主成分はフィトステロールである。	乳化剤	Vegetable Sterol			Vegetable Sterol
	(新設)								
	(新設)								
160	植物炭末色素 (植物を炭化して得られた、炭素を主成分とするものをいう。)	炭末色素	炭末	※	着色料	Vegetable Carbon Black	植物を、水蒸気賦活法で高温に加熱し炭化したものである。主色素は炭素である。黒色を呈する。		Vegetable carbon black
161	(略)								
162	(略)								
163	(略)								
164	ステビア抽出物 (ステビアの葉から抽出して得られた、ステビオール配糖体を主成分とするものをいう。)	ステビアエキス ステビオシド レバウジオシド	ステビア ステビア甘味料	※	甘味料	Stevia Extract			Stevia Extract
165	(略)								
166	(略)								
167	(略)								
168	生石灰			※	製造用剤	Quicklime	(令和3年6月17日以前に製造され、加工さ	製造用剤	Quicklime

									れ、又は輸入されるものについては、なお従前の例によることができる。)		
169	精油除去ウイキョウ抽出物 (ウイキョウの種子から得られた、グルコシルシナビルアルコールを主成分とするものをいう。)	精油除去フェネル抽出物	※	酸化防止剤	Essential Oil-Removed Fennel Extract	169	精油除去ウイキョウ抽出物 (ウイキョウの種子から得られた、グルコシルシナビルアルコールを主成分とするものをいう。)	精油除去フェネル抽出物	ゼリ科ウイキョウ (Foeniculum vulgare LINNE) の種子を水蒸気蒸留した残渣より、熱湯水で抽出し、濃縮して得られたものである。主成分は4-O-α-D-グルコシルシナビルアルコールである。	酸化防止剤	Essential oil-removed fennel extract
170	セイヨウワサビ抽出物 (セイヨウワサビの根から得られた、イソチオシアナートを主成分とするものをいう。)	ホースラディッシュ抽出物	※	酸化防止剤 製造用剤	Horseradish Extract	170	セイヨウワサビ抽出物 (セイヨウワサビの根から得られた、イソチオシアナートを主成分とするものをいう。)	ホースラディッシュ抽出物	アブラナ科セイヨウワサビ (Armoracia rusticana P. GAERTN., B. MEYER et SCHERB.) の根を、粉砕後、水蒸気蒸留で抽出して得られたものである。主成分はイソチオシアナートである。	酸化防止剤 製造用剤	Horseradish extract
171	(略)					171	(略)				
172	(略)					172	(略)				
173	(略)					173	(略)				
174	(略)					174	(略)				
175	(略)					175	(略)				
176	(略)					176	(略)				
177	粗製海水塩化カリウム (海水から塩化ナトリウムを析出分離して得られた、塩化カリウムを主成分とするものをいう。)		※	調味料	Crude Potassium Chloride (Sea Water)	177	粗製海水塩化カリウム (海水から塩化ナトリウムを析出分離して得られた、塩化カリウムを主成分とするものをいう。)		海水を、濃縮し、塩化ナトリウムを析出分離させた後、そのろ液を、室温まで冷却し、析出分離させたものである。主成分は塩化カリウムである。	調味料	Crude potassium chloride (sea water)
178	粗製海水塩化マグネシウム (海水から塩化カリウム及び塩化ナトリウムを析出分離して得られた、塩化マグネシウムを主成分とするものをいう。)	塩化マグネシウム含有物	※	製造用剤	Crude Magnesium Chloride (Sea Water)	178	粗製海水塩化マグネシウム (海水から塩化カリウム及び塩化ナトリウムを析出分離して得られた、塩化マグネシウムを主成分とするものをいう。)	塩化マグネシウム含有物	海水より、塩化ナトリウムを析出分離し、その母液を冷却して析出する塩化カリウム等を分離した残りのものである。主成分は塩化マグネシウムである。	製造用剤	Crude magnesium chloride (sea water)
179	(略)					179	(略)				
180	(略)					180	(略)				
181	(略)					181	(略)				
182	(略)					182	(略)				
183	(略)					183	(略)				
184	(略)					184	(略)				
185	(略)					185	(略)				
186	(略)					186	(略)				
187	(略)					187	(略)				
188	(略)					188	(略)				
189	(略)					189	(略)				
190	(略)					190	(略)				
191	(略)					191	(略)				
192	(略)					192	(略)				
193	(略)					193	(略)				
194	チクル (サボジラの分泌液から得られた、アミリンアセテート及びボ	クラウンガム チクブル ニスペロ	※	ガムベース	Chicle	194	チクル (サボジラの分泌液から得られた、アミリンアセテート及びボ	クラウンガム チクブル ニスペロ	アカテツ科サボジラ (Achras zapota LINNE) の幹枝より得られたラテックスを、脱水したものであり得られたものである。主成分はアミリンアセテート及びポリイソブレンである。	ガムベース	Chicle Chiquibul Crown gum Nispero

	リイソブレンを 主成分とするも のをいう。)						
195	(略)						
196	(略)						
197	チャ抽出物 (チャの葉から 得られた、カテ キニン類を主成分 とするものをい う。)	ウーロンチャ抽 出物 紅茶抽出物 緑茶抽出物		※	酸化防止剤 製造用剤	Tea Extract	
198	(略)						
199	(略)						
200	(略)						
201	(略)						
202	(略)						
203	(略)						
204	(略)						
205	(略)						
206	(略)						
207	(略)						
208	(略)						
209	(略)						
210	トウガラシ水性 抽出物 (トウガラシの 果実から抽出し て得られた、水 溶性物質を主成 分とするものを いう。)	カプシカム水性 抽出物 パプリカ水性抽 出物	カプシカム抽出 物 トウガラシ抽出 物 パプリカ抽出物	※	製造用剤	Capsicum Water-soluble Extract	
212	(略)						
213	(略)						
214	(略)						
215	(略)						
216	(略)						
217	(略)						
218	(略)						
219	(略)						
220	(略)						
221	(略)						
222	トレハロース			※	製造用剤	Trehalose	
223	(略)						
224	(略)						
225	(略)						
226	(略)						
227	生コーヒー豆抽 出物 (コーヒーの種 子から得られ た、クロロゲン 酸及びポリフェ ノールを主成分				酸化防止剤	Coffee Bean Extract	

	リイソブレンを 主成分とするも のをいう。)						
195	(略)						
196	(略)						
197	チャ抽出物 (チャの葉から 得られた、カテ キニン類を主成分 とするものをい う。)	ウーロンチャ抽 出物 紅茶抽出物 緑茶抽出物			酸化防止剤 製造用剤	Tea Extract	
198	(略)						
199	(略)						
200	(略)						
201	(略)						
202	(略)						
203	(略)						
204	(略)						
205	(略)						
206	(略)						
207	(略)						
208	(略)						
209	(略)						
210	トウガラシ水性 抽出物 (トウガラシの 果実から抽出し て得られた、水 溶性物質を主成 分とするものを いう。)	カプシカム水性 抽出物 パプリカ水性抽 出物	カプシカム抽出 物 トウガラシ抽出 物 パプリカ抽出物		製造用剤	Capsicum Water-soluble Extract	
212	(略)						
213	(略)						
214	(略)						
215	(略)						
216	(略)						
217	(略)						
218	(略)						
219	(略)						
220	(略)						
221	(略)						
222	トレハロース				製造用剤	Trehalose	
223	(略)						
224	(略)						
225	(略)						
226	(略)						
227	生コーヒー豆抽 出物 (コーヒーの種 子から得られ た、クロロゲン 酸及びポリフェ ノールを主成分				酸化防止剤	Coffee bean extract	

258	(略)						
259	(略)						
260	(略)						
261	ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ又はブドウの果皮から得られた、アントシアニンを主成分とするものをいう。)	エノシアニン	アントシアニン アントシアニン色素 ブドウ色素	※	着色料	Grape Skin Extract Grape Skin Color	
262	(略)						
263	(略)						
264	(略)						
265	(略)						
266	(略)						
267	(略)						
268	(略)						
269	(略)						
270	(略)						
271	(略)						
272	L-プロリン		プロリン	※	調味料 強化剤	L-Proline	
	L-プロリン液			※		L-Proline Solution	
273	(略)						
274	(略)						
275	(略)						
276	(略)						
277	(略)						
278	(略)						
279	(略)						
280	(略)						
281	(略)						
282	(略)						
283	(略)						
284	(略)						
285	(略)						
286	(略)						
287	(略)						
288	(略)						
289	(略)						
290	ヘプタン			※	製造用剤	Heptane	
291	(略)						
292	(略)						
293	(略)						
294	(略)						
295	(略)						
296	(略)						
297	(略)						
298	(略)						
299	没食子酸			※	酸化防止剤	Sallic Acid	
300	(略)						

258	(略)						
259	(略)						
260	(略)						
261	ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ又はブドウの果皮から得られた、アントシアニンを主成分とするものをいう。)	エノシアニン	アントシアニン アントシアニン色素 ブドウ色素	※	着色料	Grape Skin Color Grape Skin Extract	
262	(略)						
263	(略)						
264	(略)						
265	(略)						
266	(略)						
267	(略)						
268	(略)						
269	(略)						
270	(略)						
271	(略)						
272	L-プロリン		プロリン	※	調味料 強化剤	L-Proline	
	(新設)						
273	(略)						
274	(略)						
275	(略)						
276	(略)						
277	(略)						
278	(略)						
279	(略)						
280	(略)						
281	(略)						
282	(略)						
283	(略)						
284	(略)						
285	(略)						
286	(略)						
287	(略)						
288	(略)						
289	(略)						
290	ヘプタン					石油成分中、n-ヘプタンの沸点付近の留分である。	製造用剤 Heptane
291	(略)						
292	(略)						
293	(略)						
294	(略)						
295	(略)						
296	(略)						
297	(略)						
298	(略)						
299	没食子酸					ウルシ科スルデ (Rhus javanica LINNE) に発生する五倍子、ブナ科 (Quercus infectoria OIV.) に発生する没食子より、水、エタノール又は有機溶剤で抽出したタンニン、又はマメ科タラ (Caesalpinia spinosa (MOLINA) KUNTZE) の実の夾より、温時水で抽出したタンニンを、アルカリ又は酵素 (タンナーゼ) により加水分解して得られたものである。成分は没食子酸である。	酸化防止剤 Sallic acid
300	(略)						

301	(略)							
302	(略)							
303	(略)							
304	(略)							
305	(略)							
306	(略)							
307	(略)							
308	(略)							
309	(略)							
310	(略)							
311	(略)							
312	(略)							
313	(略)							
314	ミルラ (ボツヤクの分泌液から抽出して得られたものをいう。)	ミル		※		ガムベース	Myrrh	
315	(略)							
316	(略)							
317	(略)							
318	(略)							
319	(略)							
320	メバロン酸			※		製造用剤	Mevalonic Acid	
321	(略)							
322	(略)							
323	(略)							
324	(略)							
325	(略)							
326	モクロウ (ハゼノキの果実から得られた、グリセリンバルミタートを主成分とするものをいう。)	日本ロウ ハゼ脂	植物ワックス	※		ガムベース	Japan Wax	
327	(略)							
328	(略)							
329	(略)							
330	(略)							
331	(略)							
332	(略)							
333	(略)							
334	(略)							
335	(略)							
336	(略)							
337	(略)							
338	(略)							
339	(略)							
340	L-リシン	L-リジン	リシン リジン	※		調味料 強化剤	L-Lysine	
	<u>L-リシン液</u>	<u>L-リジン液</u>		※			<u>L-Lysine Solution</u>	
341	(略)							
342	(略)							
343	(略)							
344	(略)							
345	(略)							

301	(略)								
302	(略)								
303	(略)								
304	(略)								
305	(略)								
306	(略)								
307	(略)								
308	(略)								
309	(略)								
310	(略)								
311	(略)								
312	(略)								
313	(略)								
314	ミルラ (ボツヤクの分泌液から抽出して得られたものをいう。)	ミル				カンラン科ボツヤク (<u>Commiphora mukul</u> ENGL.) の分泌液より、低沸点部を蒸留により除去し、室温時エタノールで抽出し、エタノールを留去して得られたものである。成分としてロミホールを含む。	ガムベース	Myrrh	
315	(略)								
316	(略)								
317	(略)								
318	(略)								
319	(略)								
320	メバロン酸						酵母 (<u>Saccharomycopsis fibuligera</u>) によるコーンスチープリカー又はカゼイン由来のペプトンを主原料とする発酵培養液より、有機溶剤で抽出して得られたものである。成分はメバロン酸である。	製造用剤	Mevalonic acid
321	(略)								
322	(略)								
323	(略)								
324	(略)								
325	(略)								
326	モクロウ (ハゼノキの果実から得られた、グリセリンバルミタートを主成分とするものをいう。)	日本ロウ ハゼ脂	植物ワックス				キクウルシ科ハゼノキ (<u>Rhus succedanea</u> LINNE) の果実より、融解、さらしたものより得られたものである。主成分はグリセリンバルミタートである。	カムベース	Japan wax
327	(略)								
328	(略)								
329	(略)								
330	(略)								
331	(略)								
332	(略)								
333	(略)								
334	(略)								
335	(略)								
336	(略)								
337	(略)								
338	(略)								
339	(略)								
340	L-リシン	L-リジン	リシン リジン	※		調味料 強化剤	L-Lysine		
	<u>(新設)</u>								
341	(略)								
342	(略)								
343	(略)								
344	(略)								
345	(略)								

346	(略)								
347	(略)								
348	ルチン (抽出物) (アズキの全草、エンジュのつぼみ若しくは花又はソバの全草から得られた、ルチンを主成分とするものをいう。)		フラボノイド ルチン アズキ全草抽出物 エンジュ抽出物 ソバ全草抽出物	※	酸化防止剤 着色料	Rutin (Extract)			
	(削除)								
	(削除)								
	(削除)								
349	(略)								
350	レイシ抽出物 (マンネンタケの菌糸体若しくは子実体又はその培養液又はその培養液から抽出して得られたものをいう。)	マンネンタケ抽出物	レイシ	サルノコシカケ目マンネンタケ (<i>Ganoderma lucidum</i> KARST.) の菌糸体若しくは子実体、又はその培養液より、水、エタノール又は二酸化炭素で抽出して得られたものである。	苦味料等	Mannentake Extract			
	レイシ抽出物 (子実体)	マンネンタケ抽出物 (子実体)	レイシ (子実体)	※		Carpophore Derived Mannentake Extract (Fruiting body)			
351	(略)								
352	(略)								
353	(略)								
354	(略)								
355	(略)								
356	ロシン (マツの分泌液から得られた、アビエチン酸を主成分とするものをいう。)	ロジン		※	ガムベース	Rosin			
357	ローズマリー抽出物 (マンネンロウの葉又は花から得られた、カルノシン酸、カルノゾール及びロスマノールを主成分とするものをいう。)	マンネンロウ抽出物		シソ科マンネンロウ (<i>Rosmarinus officinalis</i> LINNE) の葉又は花より、二酸化炭素、温時～熱時含水エタノール若しくはエタノールで抽出して得られたもの、又は温時～熱時ヘキサン、メタノール若しくは含水メタノールで抽出し、溶媒を除去して得られたものである。有効成分は、フェノール性ジテルペノイド (ロスマノール、カルノゾール及びカルノシン酸等) である。	酸化防止剤	Rosemary Extract			
	ローズマリー抽出物 (水溶性)	マンネンロウ抽出物 (水溶性)		※		Rosemary Extract (Water Soluble)			
	ローズマリー抽出物 (非水溶性)	マンネンロウ抽出物 (非水溶性)		※		Rosemary Extract (Water Insoluble)			

346	(略)								
347	(略)								
348	ルチン (抽出物) (アズキの全草、エンジュのつぼみ若しくは花又はソバの全草から得られた、ルチンを主成分とするものをいう。)		フラボノイド ルチン		酸化防止剤 着色料	Rutin (extract)			
	エンジュ抽出物			※		Enju Extract Japanese Pagoda Tree Extract			
	アズキ全草抽出物					マメ科アズキ (<i>Azukia angularis</i> OHWI) の全草より、水又はエタノールで抽出して得られたものである。主成分はルチンである。			Azuki extract
	ソバ全草抽出物					タデ科ソバ (<i>Fagopyrum esculentum</i> MOENCH) の全草より、水又はエタノールで抽出して得られたものである。主成分はルチンである。			Buckwheat extract
349	(略)								
350	レイシ抽出物 (マンネンタケの菌糸体若しくは子実体又はその培養液又はその培養液から抽出して得られたものをいう。)	マンネンタケ抽出物	レイシ	サルノコシカケ目マンネンタケ (<i>Ganoderma lucidum</i> KARST.) の菌糸体若しくは子実体、又はその培養液より、水、エタノール又は二酸化炭素で抽出して得られたものである。	苦味料等	Mannentake extract			
	(新設)								
351	(略)								
352	(略)								
353	(略)								
354	(略)								
355	(略)								
356	ロシン (マツの分泌液から得られた、アビエチン酸を主成分とするものをいう。)	ロジン		マツ科マツ (<i>Pinus palustris</i> MILL.) の樹皮の分泌液より、低沸点部を蒸留により除去して得られたものである。主構成成分はアビエチン酸である。	ガムベース	Rosin			
357	ローズマリー抽出物 (マンネンロウの葉又は花から得られた、カルノシン酸、カルノゾール及びロスマノールを主成分とするものをいう。)	マンネンロウ抽出物		シソ科マンネンロウ (<i>Rosmarinus officinalis</i> LINNE) の葉又は花より、二酸化炭素、温時～熱時含水エタノール若しくはエタノールで抽出して得られたもの、又は温時～熱時ヘキサン、メタノール若しくは含水メタノールで抽出し、溶媒を除去して得られたものである。有効成分は、フェノール性ジテルペノイド (ロスマノール、カルノゾール及びカルノシン酸等) である。	酸化防止剤	Rosemary extract			
	(新設)								
	(新設)								

※食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）第2添加物の部D成分規格・保存基準各条の規定に従う。

なお、組換えDNA技術によって得られた生物を利用して製造された添加物の場合は、厚生労働大臣が定める安全性審査の手続を経た旨が公表されておかなければならない。

別添 添加物 2-2 (略)

別添 2-3 一般に食品として飲食に供されている物であって添加物として使用される品

目リスト

品名		簡略名又は類別名	基原・製法・本質	用途	備考
名称	別名				
アカキヤベツ色素	ムラサキキヤベツ色素	アカキヤベツ アントシアニン アントシアニン色素 野菜色素	※	着色料	Red Cabbage Color
(略)					
カゼイン	酸カゼイン	乳たん白	※	製造用剤	Casein
(略)					
ブラックカーラント色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素	※	着色料	Black Currant Color
(略)					

※食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）第2添加物の部D成分規格・保存基準各条の規定に従う。

別添 栄養成分等の分析方法等 (略)

別添 アレルゲンを含む食品に関する表示

別表 1 特定原材料等の範囲 (略)

別表 2 特定原材料等由来の添加物についての表示例

1 特定原材料

特定原材料の名称	区分	添加物名	特定原材料の表示	備考
(略)				
小麦	(略)			
そば	既存添加物	<u>ルチン(抽出物)</u>	(略)	
卵	既存添加物	<u>卵殻焼成カルシウム</u>	(略)	
乳及び乳製品	既存添加物	<u>乳清焼成カル</u>	(略)	

※食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）第2添加物の部D成分規格・保存基準各条の規定に従う。

なお、組換えDNA技術によって得られた生物を利用して製造された添加物の場合は、厚生労働大臣が定める安全性審査の手続を経た旨が公表されておかなければならない。

別添 添加物 2-2 (略)

別添 2-3 一般に食品として飲食に供されている物であって添加物として使用される品

目リスト

品名		簡略名又は類別名	基原・製法・本質	用途	備考
名称	別名				
アカキヤベツ色素	ムラサキキヤベツ色素	アカキヤベツ アントシアニン アントシアニン色素 野菜色素	アブラナ科キヤベツ (Brassica oleracea LINNE var. capitata DC.) の赤い葉 (赤キヤベツ、紫キヤベツ) より、煮沸時弱酸性水溶液で抽出して得られたものである。主色素はシアニンシアシルグリコシドである。赤色～紫赤色を呈する。	着色料	Red cabbage colour
(略)					
カゼイン	酸カゼイン	乳たん白	生乳又は脱脂乳より、酸処理による沈殿によって得られたタンパク質である。	製造用剤	Casein
(略)					
ブラックカーラント色素		アントシアニン アントシアニン色素 果実色素 ベリー色素	ユキノシタ科クロフサスグリ (Ribes nigrum LINNE) の果実より、搾汁したものを又は室温時～煮沸時水若しくは弱酸性水溶液で抽出して得られたものである。主色素はフルボイニジン-β-D-グルチノシド等である。赤色～青色を呈する。	着色料	Black currant colour
(略)					

(新設)

別添 栄養成分等の分析方法等 (略)

別添 アレルゲンを含む食品に関する表示

別表 1 特定原材料等の範囲 (略)

別表 2 特定原材料等由来の添加物についての表示例

1 特定原材料

特定原材料の名称	区分	添加物名	特定原材料の表示	備考
(略)				
小麦	(略)			
そば	既存添加物	<u>ルチン(抽出物)(ソバ全草抽出物)</u>	(略)	
卵	既存添加物	<u>焼成カルシウム(卵殻焼成カルシウム)</u>	(略)	
乳及び乳製品	既存添加物	<u>焼成カルシウ</u>	(略)	

		<u>シウム</u>		
(略)				
2 特定原材料に準ずるもの				
特定原材料に準ずるものの名称	区分	添加物名	特定原材料に準ずるものの表示	備考
(略)				
<u>(削除)</u>				
(略)				
大豆	既存添加物	ばい煎ダイズ抽出物	<u>ばい</u> 煎ダイズ抽出物	(略)
(略)				
別表3 特定原材料等の代替表記等方法リスト (略)				
別添 アレルゲンを含む食品の検査方法～別添 Shellfish Growing Areas Classified for Harvest for Human Consumption in Accordance with Regulation 48 of the Animal Products (略)				

		<u>ム(乳清焼成カルシウム)</u>		
(略)				
2 特定原材料に準ずるもの				
特定原材料に準ずるものの名称	区分	添加物名	特定原材料に準ずるものの表示	備考
(略)				
<u>牛肉</u>	<u>既存添加物</u>	<u>フェリチン</u>	<u>フェリチン(牛由来)</u> <u>鉄たん白(牛由来)</u> <u>鉄たん白質(牛由来)</u>	<u>真皮層を含まない内臓由来のものは特定原材料等の表示不要</u>
(略)				
大豆	既存添加物	ばい煎ダイズ抽出物	<u>焙煎</u> ダイズ抽出物	(略)
(略)				
別表3 特定原材料等の代替表記等方法リスト (略)				
別添 アレルゲンを含む食品の検査方法～別添 Shellfish Growing Areas Classified for Harvest for Human Consumption in Accordance with Regulation 48 of the Animal Products (略)				